

令和7年度 一般入学者選抜の選抜・評価方法

学校番号 52

千葉県立松戸向陽高等学校 全日制の課程 福祉教養科

1 期待する生徒像

中学校生活全般にわたり真面目な取組をし、基本的な生活習慣が身に付いている者で次のすべてを満たす者

- ア 向学心をもち、積極的に学習活動を行うこと。
- イ 福祉に対する興味・関心が高いこと。
- ウ ボランティア活動等に意欲的に取り組む強い意志があること。
- エ 福祉関連分野への進路希望が強く、介護福祉士の国家資格取得への意欲が高いこと。

2 選抜資料

(1) 学力検査	5教科の学力検査の得点
(2) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(3) 学校設定検査（面接）	受検者1名・評価者3名の個人面接 検査時間：1名5分

3 評価項目及び評価基準

(1) 学力検査〔500点満点〕

評価項目	評価基準
5教科の得点合計	5教科（各教科100点満点）の合計500点満点で評価する。

(2) 調査書〔185点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=1$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	各学年において欠席が10日以上ある場合、または3年間の欠席の合計が20日以上ある場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録、部活動の記録及び特記事項	学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、資格、ボランティア活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については加点する。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(3) 学校設定検査（面接）〔100点満点〕

3名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（問題がある）の3段階で評価する。

3名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a a～c c c）で得点化する。同一の評価項目で評価cが2つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望動機	志望動機が明確かつ具体的に述べられており、その内容も適切である。
イ 入学後の抱負	入学後の抱負が明確かつ具体的で、強い活動意欲がみられる。
ウ 進路目標	将来の進路目標が具体的に述べられている。
エ 身だしなみ・態度	身だしなみが整っており、面接態度が優れている。

4 選抜方法

(1) 選抜の方法

「学力検査の得点」、「調査書の得点」及び「学校設定検査（面接）の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、原則として、募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

学力検査 の得点	調査書の得点		学校設定検査の得点	総得点
	評定 (K=1)	加点	面接	
500点	135点	50点	100点	785点

(2) その他

ア 自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いをしない。

イ 入学許可候補者とした者のうち、隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定による入学許可候補者数が、細部協定書の示す制限比率を超えていないことを確認する。

5 その他

過年度卒業者については、学校設定検査終了後、別途個人面談を行う。